

# BankART Cafe Live

2008年9月20日[sat]ー11月29日[sat]

BankART Mini 他

BankART Cafe Live Series 2008 公募審査員 佐々木敦 前田圭蔵 満端俊夫 宮沢章夫 矢内原美邦

BankART Lifell 週末の夜を彩るパフォーマンスプログラム、BankART Cafe Live。Cafe Live Series 2008 の公募で BankART 賞、Cafe Live 賞を受賞した若手アーティストや、BankART にゆかりのある第一線で活躍するアーティストたちが登場します。横浜トリエンナーレ開催時間終了後、BankART Studio NYK に新設の BankART Mini のカフェスペースや野外ゾーンの特徴ある空間を会場に開催されます。それぞれ一夜限りの公演です。



友部正人「大岡川 川くだりライブ」

9月20日(土)集合場所:川の駅「大岡川桜橋橋」17:30

BankART Studio NYKの河岸で19:00からコンサート

※ NYKのみ有料。雨天の場合は NYKのみ。川の駅「大岡川桜橋橋」横浜市中区日ノ出町2丁目・旭橋付近 京浜急行日ノ出町駅より徒歩2分。黄金町駅より徒歩5分。

一寸法師ならぬ、五十五寸法師の友部正人が、ギターをかかえて大岡川をくだる船の上からお届けします。舞台は黄金町の桜橋橋に始まり、船に乗ってゆらゆらと大岡川をくだり、BankART Studio NYKへ。兩岸の街へ、人へと歌いかけます。みんなで川岸を歩いてついで行きましょう。馬車道の街を歌って練り歩いた2005年 BankART Lifeでのライブに続く第2弾。

友部正人 Tomobe Masato

1950年生まれ。1972年「大阪へやってきた」でアルバムデビュー。最新作「歯車とスモークド・サーモン」まで21枚のオリジナルアルバムを発表。「すばらしいさようなら」、「夜中の鳩」など詩集を6冊「ニューヨークの半熟卵」などエッセイ集も7冊刊行。また、詩の朗読のプロジェクト「no media」も2000年からスタートし、詩の朗読CDのプロデュースやライブも行っている。BankARTでは「友部正人文化祭」[LIVE! no media 2006]などを開催。現在ニューヨークと横浜を行ったり来たりの日暮らし。



「大倉摩矢子舞踏公演」

10月31日(金)20:00開演 BankART Mini

構成出演:大倉摩矢子 監配師:大森政秀

出かける用意ができたら行くよ。昨日は昨日、今日は今日。言葉でとらえられない瞬間に耳傾けて。どこまでもどこまでも。

大倉摩矢子 Ohkura Mayako

1977年岡山県生まれ。大学在学中に舞踏に出会い、1999年より舞踏家大森政秀氏に師事。氏の主宰する天狼星堂舞踏公演に出演を重ねながら、2001年よりソロも開始。休日の美容室を貸し切り、音楽のライブ・写真・絵と自らの舞踏ソロのイベントを立ち上げ踊っていた。主なソロ「なんでもあり」[「微熱な日々」]「些細なこと」[「明日へ」]「スプリング」。他、ダンス白州や金沢21世紀美術館でのカール・ストーン氏 (music) とのセッションに出演等。2002年ラボ20#13 (ST スポット) にて、ラボアワードを受賞。2003年度舞踊批評家協会賞新人賞受賞。現在も天狼星堂のメンバーとして活動している。



オムトン「omu-life」

9月27日(土)20:00開演 BankART Mini

打楽器だけど、ゆるやかにつながる音の時間。BankART Life IIのキーワードである「ひらくこと・つなぐこと」をもとに新たに制作された音源「omu-life」。ここに入った4曲は、ひとつの音楽として、それぞれの曲として、「omu-life」から流れる。木琴。鉄琴。ドラム。ピアノ。手拍子。オムトン3人。omu-tone+BankART Life+YOKOHAMA+ヒト。BankARTの建物で流れる音。持ち帰る音。思い出す音。Cafe Liveでは、音だけでは見えてこない「omu-life」が聴こえる。

オムトン omu-tone

澤口希、佐藤貴子、高橋若菜の3人からなる打楽器バンド。2001年澤口の呼びかけで結成。マリンバやカホン、ジャンベ、鈴、コガなどの様々な楽器を使い、シンプルに心地よい音づくりを目指している。発表の場はカフェやライブハウスなど様々。前回の「BankART Life」では『YOKOHAMA Omu-ning』を作曲、CDを発表。現在 new album「3」発売中。http://www.geocities.jp/omutone/



中村恩恵+廣田あつ子「夢みる権利」

11月1日(土)20:00開演 BankART Mini

「何といることがこの地上にはあるのか、と私は何度も叫んだ。…この身などはどうでもよかった。魂はもはやこの身を捨て、薄紅色に咲き乱れる豊満な花の群れのなかに粉々に砕け散っていた。・・・私にはもはや虚ろな身体しか残っていなかった。それは私でありながら、私でなかった。本当の私は、花また花のこの歓喜のなかで踊っていた。」(辻邦生「西行花伝」より)

中村恩恵 Nakamura Megumi

横浜生まれ。舞踊家。1991年から、ネザラランドダンスシアターで主要ダンサーとして踊った後、フリーの舞踊家として活動。また、キリアン作品のコーチとしてパリオペラ座をはじめ、世界中のバレエカンパニーなどで作品を指導している。2007年横浜にDance Sangaを設立。Noism07の委嘱で"Waltz"を発表。2008年度舞踊批評家協会新人賞受賞。

廣田あつ子 Hirota Atsuko

幼少よりクラシックバレエとピアノを学ぶ。2年間のNY生活にて様々なジャンルを修得。帰国後も国内外数多くの振付家作品に出演。ダンスカンパニーとの創作活動、ヨーロッパ公演ツアーに参加。ソロとしても実験的なパフォーマンス、音楽家との共演など活躍の場を広げ独自の世界を深めている。



Belibi-yo Strassburg Company/ 梅若猶彦 「『序章・懺法(せんぼう)』 Work in Progress」

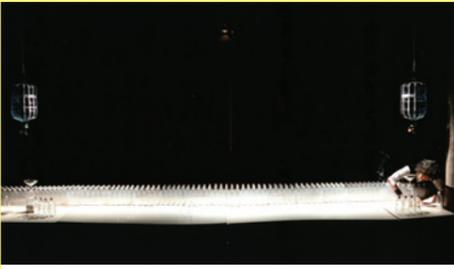
11月23日(日)20:00開演 BankART Mini

飯面の男はカフェで注文する。ハンバーガーステーキとライス、食後にコーヒー。BankART Studio NYKで以前行われた現代劇「世界最高の演劇 Italian Restaurant!」の舞臺子ヴァージョンとして Update された作品。公演第二弾。

Belibi-yo Strassburg Company ベリビーヨ・ストラスブルグカンパニー2007年発足。メンバーはBankART school 2007の梅若猶彦氏の講師[「身体性」魅力的な身体の作り方-(妙花風では無くフルツ牛乳風)] 受講生と梅若氏自身などによる。既にプロで活躍中のアーティストも多数参加。2008年1月「食と現代美術 part 4」において「世界最高の演劇 Italian Restaurant!」を上演。

梅若猶彦 Umewaka Naohiko

能楽師シテ方。1958年大阪府生まれ。多くの能楽で自ら演じる傍ら、創作能や現代舞踊とのコラボレーション等にも積極的に取り組む。現在、静岡文化芸術大学教授、ロンドン大学客員教授を経て、フィリピン大学ディリマン客員教授を務める。主な著書に『能楽への招待』など。BankART「食と現代美術 part1・2」で、それぞれ「ショートケーキ食べたので〜トリストンとイソルデより」[「泊二食付き」]を披露。



ARICA「No Exit」

11月21日(金)20:00開演 BankART Mini

ARICAは身体運動とモノ、装置、空間がスラプスティックなまでに絡み合った舞台表現に取り組んでいます。特に上演場所に関しては、既存の劇場ではなく個性あるサイトスペシフィックな空間に刺激を受けクリエイションをすることを大切にしています。BankARTでは、元銀行や倉庫の空間を活かし、『Kawase』(2004)、『KIOSK』(2006)を上演しました。今回は、空間のディテールを見据え、BankART Miniのユニークなカフェスペースでしか実現しえない1回限りの上演を行います。

ARICA アリカ

パフォーマーの安藤朋子、演出の藤田康城、詩人・写真批評の倉石信乃、作曲家でコントラバス奏者猿山修、グラフィックデザイナー山口信博と須山悠里、テキスタイルコーディネーター・デザイナー安東陽子、プロデューサーの前田圭蔵を中心としたシアター・カンパニー。身体とテキスト、音、装置の関係を根底からとらえ直す演劇実験を継続している。2005年カイロ国際実験演劇祭特別賞ベストソロパフォーマンス賞受賞。



文殊の知恵熱「UNG-A」

11月29日(土)20:00開演 BankART Mini

お久しぶり〜、文殊の知恵熱です。初めて横浜でパフォーマンスします。前回の「都電ライブ」から3年たちやいました。すげえ、トリエンナーレじゃん!なのでタイトルは「おれ達だって鳥園だ〜!」にしようかと話し合う。でもやめる。人をからかってはいけない。3人は、いつのまにか大人になっていた。とその時、運河でボラが跳ねた。日が暮れると対岸の灯りが綺麗だ。…使いたいと思う。

文殊の知恵熱 Monjunochienetsu

音楽家とうじ魔とうじ、美術家松本秋則、舞踏家村田青柳の3人によるパフォーマンスユニット。一見、とうじ魔が音楽担当、松本が美術担当、そして村田が踊るのだと思われがちだが、そうではない。ジャンルを浸食しあい、超越する舞台作り挑戦し、公演活動を続けている。1989年旗揚げ。1992年、代表作「マクロニ空洞説」。1997年「竹輪式」など、2002年には、日印外交関係樹立50周年記念事業「JAPAN WEEK」でインド公演を行う。

# BankART賞

BankART Cafe Live Series 2008 公募審査員 佐々木敦 前田圭蔵 満端俊夫 宮沢章夫 矢内原美邦



金子良 / のびアニキ

「『屋根の上ののびアニキ』上映会」

10月18日(土)、11日28日(金)20:00開演 BankART Mini

生来、ドジだった僕は人に会うことを極力、拒んできました。だから、2003年にもう一度、子供からやり直すことにしました。それからは、新しい出会いを求め、金沢、広島、東京、愛知、大阪、神戸などいろんな街に出没し、映像を作ってきました。今までの映像に映った人も見た人も、表情が溢れ、自分でも素晴らしい映像ができたと思っています。そして、新しい旅がまた始まります。ここ横浜でも、また新しい出会いがあればいいと思います。9/13から11/30まで、昼は街中に、夜はBankARTの屋上に出没。10/18(土)、11/28(金)には映像を上映します。

金子良 / のびアニキ Kaneko Ryo/Nobi Aniki

1980年岩手県生まれ。2004年10月-2005年3月ヤノベケンジ「子供都市計画」参加。2006年「いただきますの楽園」。同年「アートコートフロンティア2006」。2007年「Re-Act 新・公募展2007」審査員特別賞。2008年「第11回 岡本太郎現代美術賞展」特別賞受賞。

Cafe Live Series 2008 公募部門 BankART 賞受賞。



菊地容作「パフォーマンス公演」

11月2日(日)20:00開演 BankART Mini

主催:菊地容作 共催:BankART 1929

チケット予約問い合わせ

BankART1929 life2@bankart1929.com

菊地容作 kiku\_saku@hotmail.com

ある場所に、レモンと、トマトと、カボチャと、卵があります。それぞれには目が2つずつついており、それはどこことなく正面を思わせず。レモンはトマトを、トマトはカボチャを、カボチャは卵を見えています。卵はというと、最初視線をレモンに返そうか、カボチャに戻そうか迷っていましたが、結局、目を閉じてしまいました。視線は連鎖し、だれかの覗き目に留まることをおぼえたようです。(目をちぎりとってムシャムシャムシヤ)

菊地容作 Kikuchi Yousaku

1982年千葉県、銚子市生まれ。2006年多摩美術大学絵画科油画専攻卒業。2005年「lose one's sight (光を失う) PROJECT」/北仲 BRICK E ☆ studio、2006年「アピース オブ ユニバース」/BankART Studio NYK gallery B、2007年「アンマンマリアン Unmammalian」/Gallery Stump Kamakura。Cafe Live Series 2008 公募部門 Cafe live 賞受賞。



大和川レコード

「(再)祝!大和川レコードチャンネル開局とそれに伴う一連の手続き」

11月7日(金)20:00開演 BankART Mini

大和川レコードの、大和川レコードによる、大和川レコードのためのテレビ局「大和川レコードチャンネル」が、横浜の“お台場” BankART Studio NYKにて開局。ライブを見終わった後は、きつと「なぜ我が家のテレビは大和川レコードチャンネルが映らないんだ!」ってイライラするほど、中毒性の高いコンテンツとなるでしょう。テーマソングはやっぱりこの曲、大和川レコード1stアルバム「選び採られた日常」より「飛びか…。※一部の離島では放送されません。

大和川レコード Yamatogawa Record

1979年大阪生まれ。日常編集家:アサダワタルの個人屋号。弾き語り、ビデオパフォーマンス、バンド(「越後屋」(NMR)「SamuraiJazz」(cubicmusic)等)や映画、CM等でのドラム演奏、環境音編集、オルタナティブスペースなどの運営、トークショーの司会業、ヘルパー2級講座通学等々、劇的なほど雑多に活動。2006年~大阪市文化事業「築港ARC」チーフディレクター。http://yrecord.exblog.jp/

Cafe Live Series 2008 公募部門 BankART 賞受賞



oscillator「northpole」

11月22日(土)20:00開演 BankART Mini

主催:oscillator 共催:BankART 1929

チケット予約問い合わせ

BankART1929 life2@bankart1929.com

oscillator osc-mail@clayrec.com

今回は、northpole(北極・N極・花)というタームを音像・映像・パフォーマンスへ射影することを試みる。自然現象や記憶の中の美しく儂い瞬間を抽出し、インターフェースを通じて人の動きをトレスし、音像に変換。緊張感と心地良さが同居する白昼夢を、その空間に現前させる。女性ボーカル、フルート、コンピュータ、ギター、サトロン(自作電気楽器)で構成する電子アコースティックアンサンブル。

oscillator オシレーター

女性ボーカル、フルート、コンピュータ、ギター、サトロン(自作電気楽器)で構成する電子アコースティックアンサンブル。2003年、1stアルバムを全国リリース。Victor MGにて作曲賞受賞。サウンド&レコーディングマガジンでの連載、任天堂GAMECUBEソフトへの楽曲提供、バリ・東京同時開催のPLACARD等へ出演。2ndアルバムnorthpoleをリリース。http://www.clayrec.com/osc/ Cafe Live Series 2008 公募部門 Cafe live 賞受賞。

# Cafe Live 賞